

本部町 地域経済動向分析

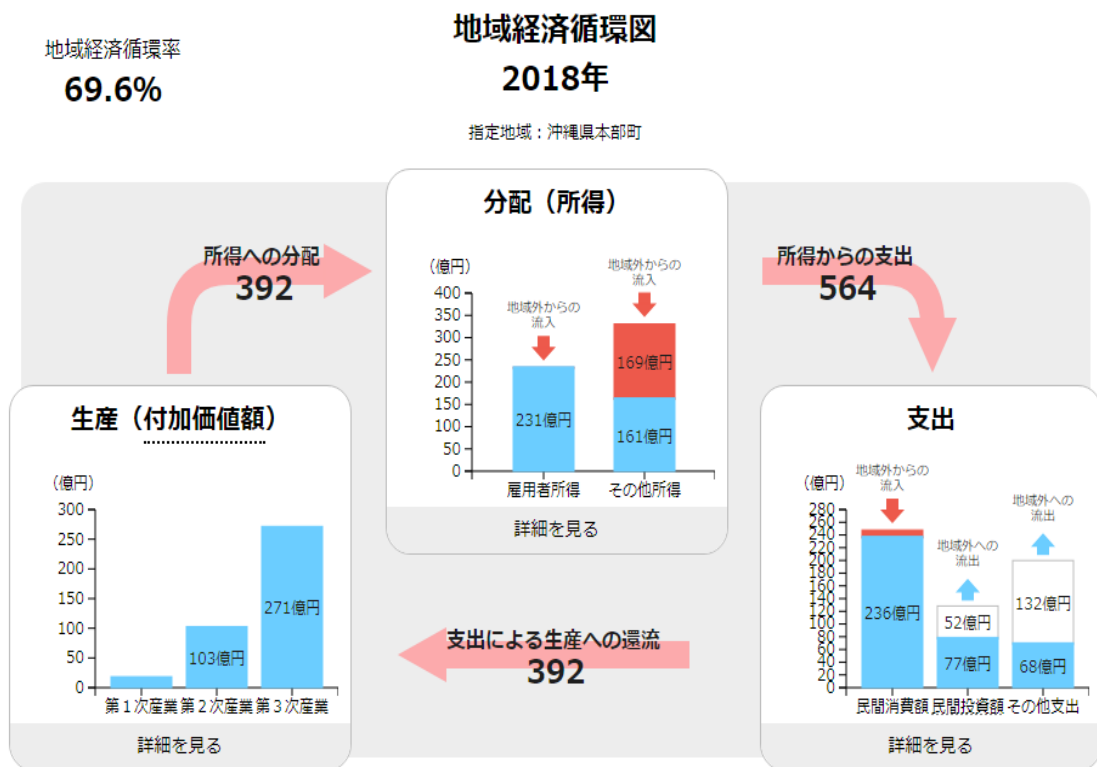
RESAS(リーサス)

地域経済分析システム:RESAS(リーサス)は、地域に関する官民の様々なデータをから、誰もが分かりやすいように「見える化」したシステムです。

自治体職員の方や、地域活性化に関心を持つ様々な分野の方によって、効果的な施策の立案・実行・検証のためなどに広く利用されています。

※ 経済産業省と内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が提供しています。

RESAS(リーサス)の地域経済循環図を活用した、本部町地域経済循環図の説明をします。

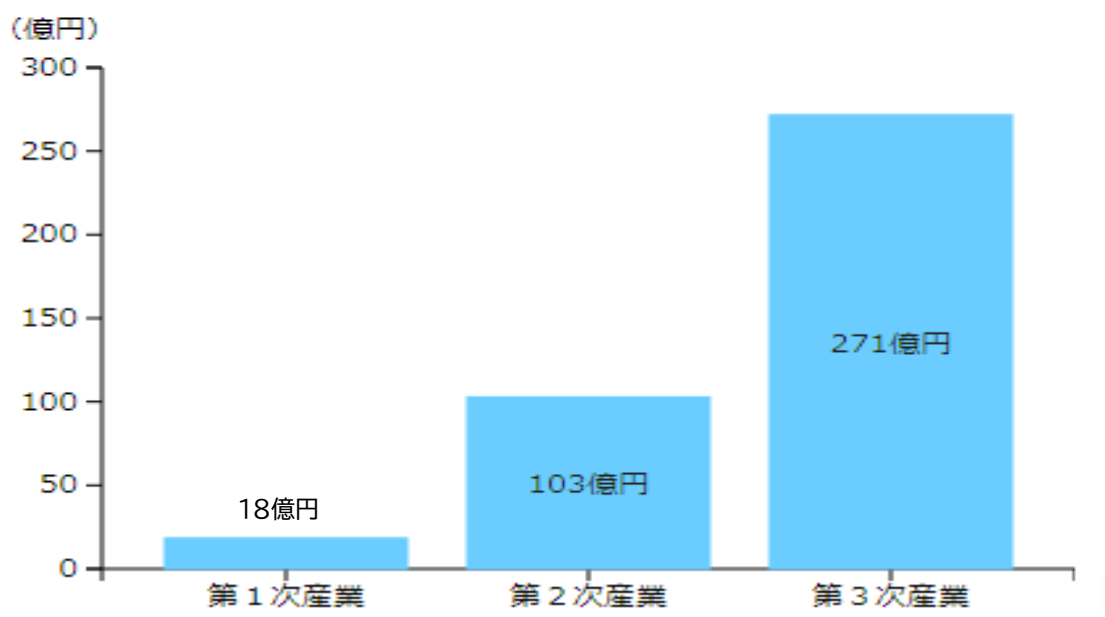


【出典】
環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)委託作成)
地域経済循環分析 <http://www.env.go.jp/policy/circulation/index.html>

地域経済循環分析では、地域経済の長所と短所を分析し、地域のお金(所得)の流れを生産、分配、支出(消費、投資等)の三面から「見える化」、地域経済全体像や、所得の流入(お金を稼ぐ力・流入額)、地域内の産業間取引(循環構造)を把握することができます。

生産（付加価値額）の分析

生産（付加価値額）



「生産(付加価値額)」では、地域が生産した商品やサービス等を販売して得た金額から、原材料費や外注費といった中間投入額を差し引いた付加価値額を把握することができます。

この分析から、地域経済(第1次産業、第2次産業、第3次産業)を付加価値額のグラフで比較することが可能です。加えて、地域の当該産業の従業者一人当たりの付加価値額(労働生産性)を表で把握することができます。

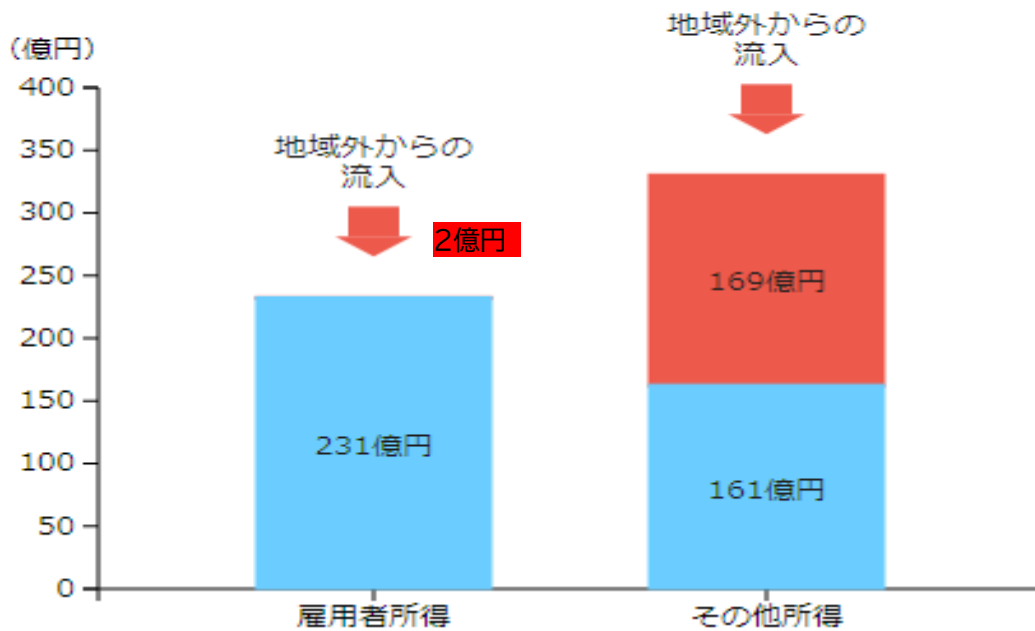
地域生産総額(付加価値総額392億円)のうち、第3次産業が271億円と全体の約69%を占めています。

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	749万円	1,022万円	515万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	52位	584位	1,736位

全国:1,741市町村
第1次産業 52位
第2次産業 584位
第3次産業 1,736位

分配の分析

分配（所得）



「分配(所得)」では、地域産業が稼いだ付加価値額がどのように所得として分配されたかを把握することができます。

「分配(所得)」は、雇業者に支払われた「雇業者所得」と、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇業者所得以外の「その他所得」で構成されます。

各棒グラフは、地域内の住民・企業等に分配された所得の総額を示しています。

「雇業者所得」では231億円が市民ベース所得、2億円が地域外からの流入。

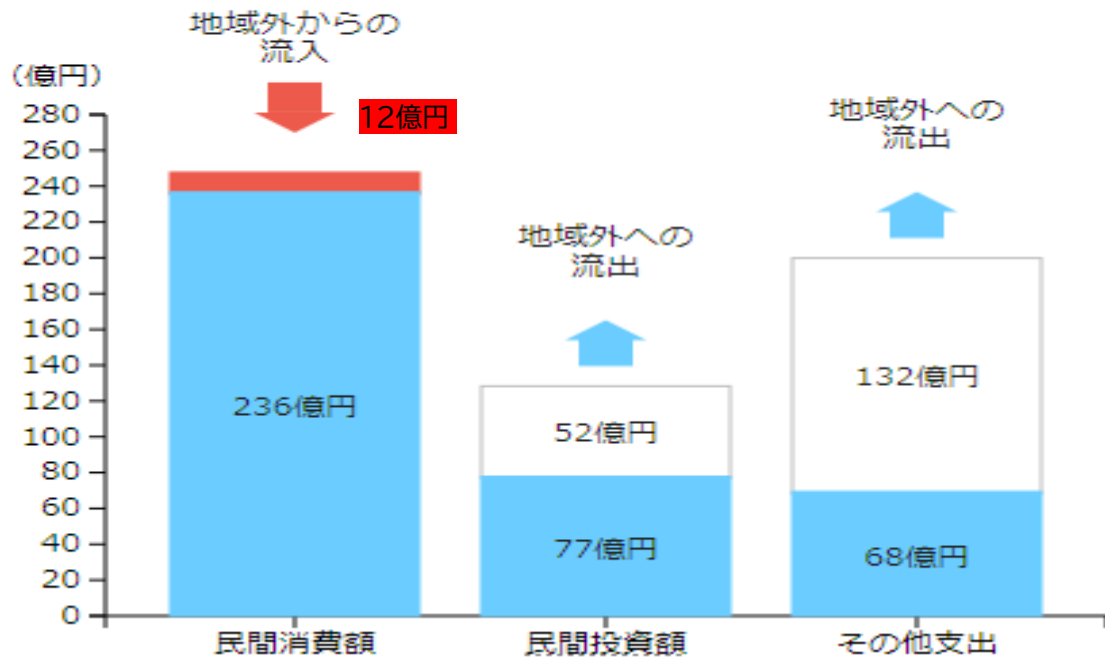
「その他所得」では161億円が市内勤務者ベース所得、169億円が市外からの流入。

	雇業者所得	その他所得
所得 (一人当たり)	177万円	251万円
所得 (一人当たり) 順位	1,492位	574位

全国 1,741市町村中 雇業者所得 1,492位 その他所得 574位
--

支出の分析

支出



「支出」では、地域内の住民・企業等に分配された所得がどのように使われたかを把握することができます。

「支出」は、住民の消費等を示す「民間消費額」、企業の設備投資等を示す「民間投資額」、政府支出、地域内産業の移輸出入収支額等を示す「その他支出」で構成されます。

各棒グラフは、地域内で消費・投資された金額を示しています。

地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が少ない場合は、その差額がグラフでは空白の四角で表示され、支出が地域外に流出していることを意味します。

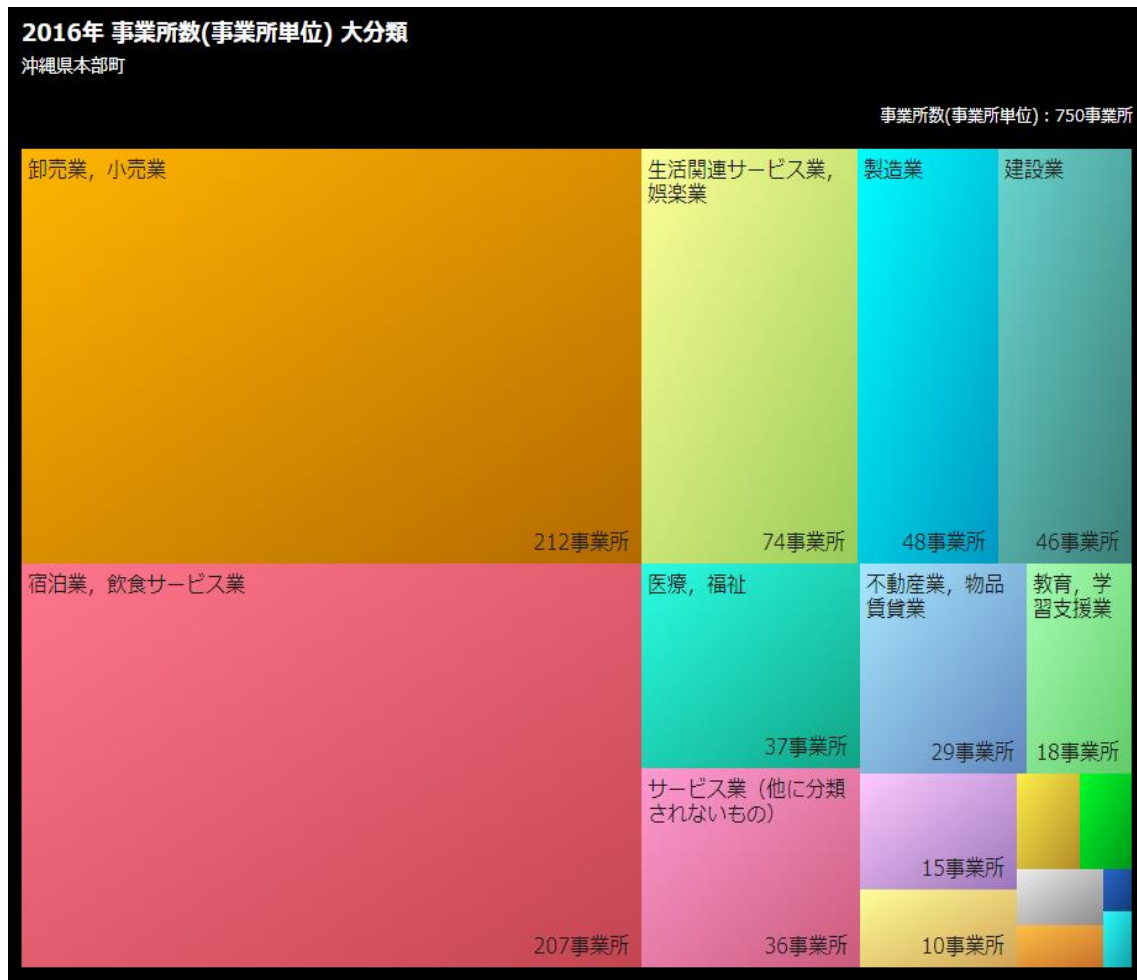
	民間消費	民間投資	その他支出
支出流入率	5.1%	-40.3%	-65.9%
支出流出率 順位	615位	1,446位	913位

全国 1,741市町村中
民間消費 615位
民間投資 1,446位
その他支出 913位

産業構造の分析

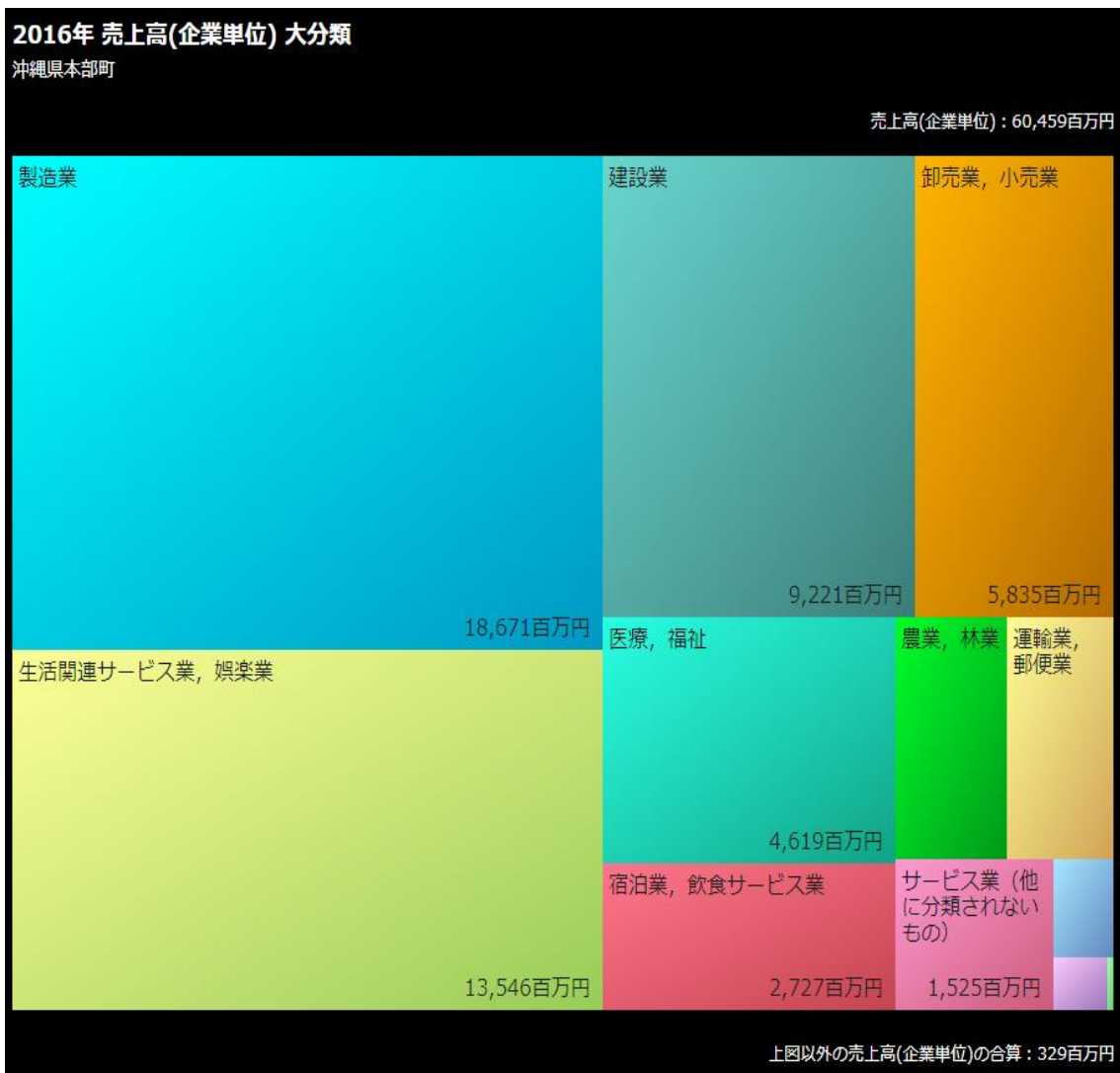
この図では、本部町における事業所数(事業所単位)が把握できます。

この図から「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「製造業」、「建設業」の順で多くなっています(事業所数750事業所)



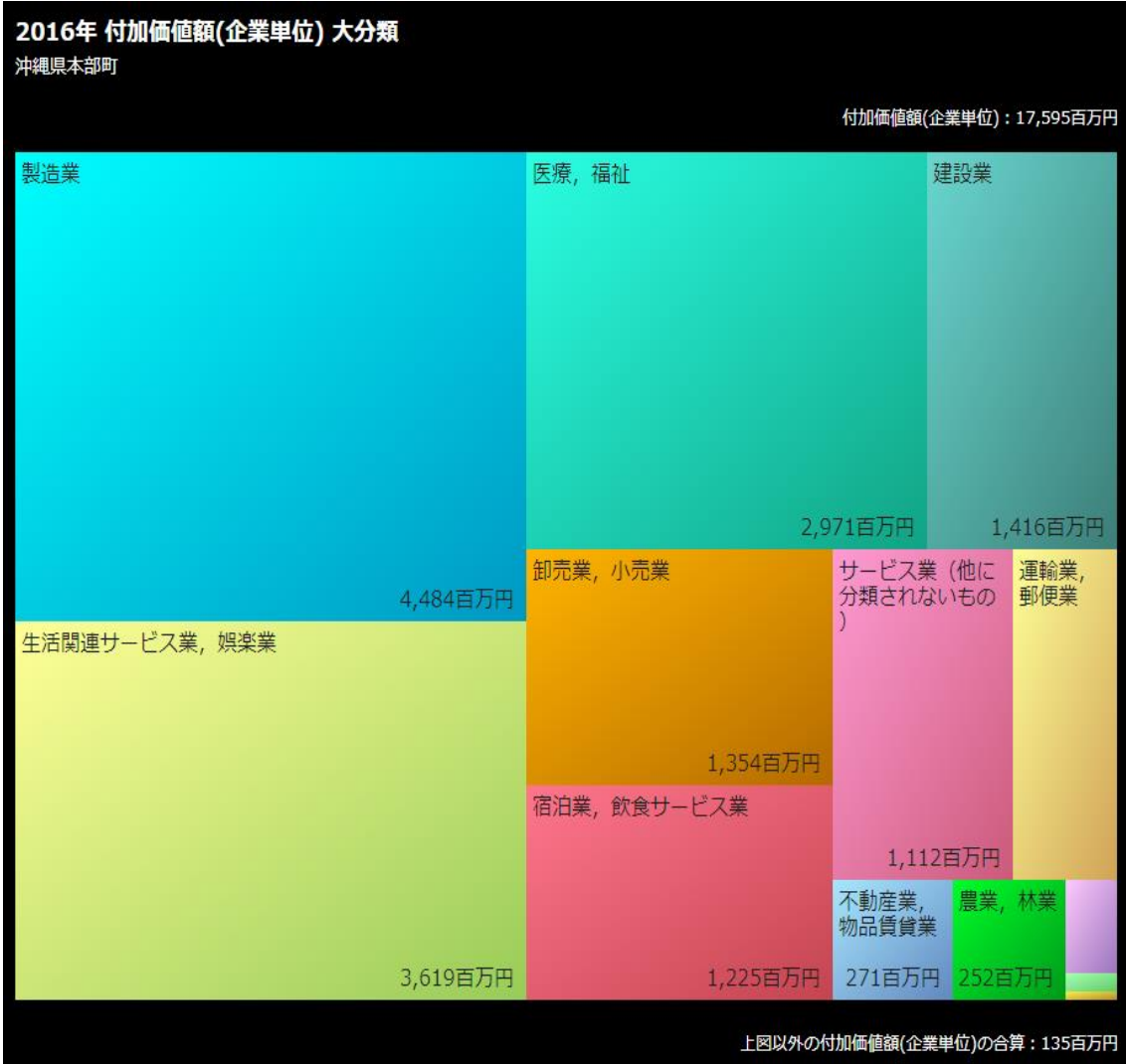
この図では、本部町における売上高(企業単位)の構成が把握できます。

この図から、「製造業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「建設業」、「卸売業、小売業」の順で多くなっています。売上高(企業単位)60,459百万円)



この図では、本部町における付加価値額(企業単位)の構成が把握できます。

この図から、「製造業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「医療、福祉」、「建設業」の順で多くなっています。(総付加価値額(企業単位)17,595百万円)

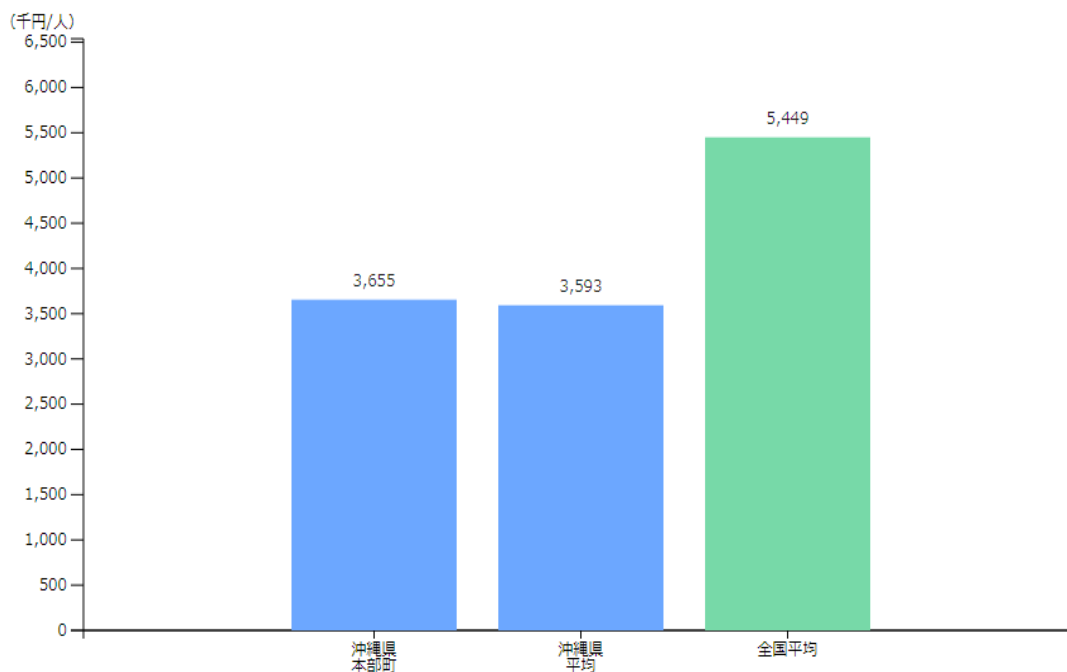


この図では、本部町における付加価値額(企業単位)の構成が把握できます。
この図から、労働生産性(企業単位)については下記の通りとなります。

本部町:3,655千円/人、沖縄県平均3,593千円/人、全国平均5,449千円/人

労働生産性(企業単位) 2016年

産業：すべての大分類 > すべての中分類



【出典】

総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

RESAS(リーサス)から読み取る

本部町の経済循環を「生産」・「分配」・「支出」の3つの視点から読み取りました。

町外から所得を稼ぐ産業はなにか、本部町内企業が得た所得が町内所得となっているか、町内所得が町外へ流出していないか、これらを把握することで本部町内産業の生産から分配までの所得流出入、企業設備投資とその流出入が理解できます。経済循環から強み・弱みを知り、少しでも町内所得が町内で循環できるよう、地域産業を活かした企業間連携強化を図る取り組みが重要になるかと思われます。

地域経済分析システム:RESAS(リーサス)は、地域経済に関する様々なデータを各項目に分けグラフ化するシステムです。地域経営環境の変化や地域実情を理解できほか、無料で活用することができますので、事業計画策定や戦略立案にご活用ください。

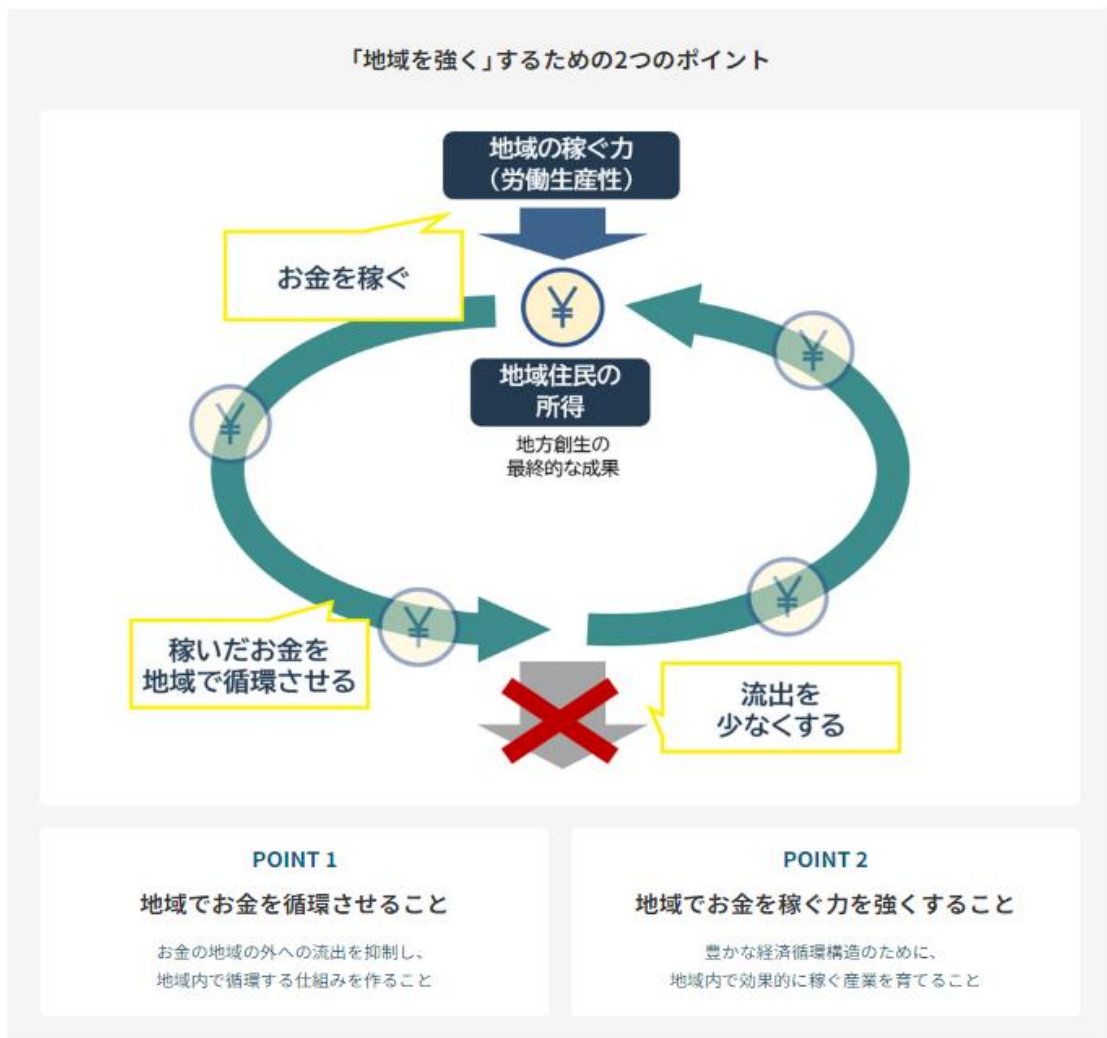
地域経済循環で「地域を強く」する

全国有数の工業地帯を有していたり、人気の観光地であったり、先端企業を誘致しているなど、一見、地域の経済は潤っているように見えるのに、地域の住民の所得は低い…

地域には多くの補助金や交付金が入ってきているのに、なかなか経済が良くならない…

地域でこんな悩み・不安を覚えたことはありませんか？

これらの悩みは、「地域経済が循環型構造になっていない」ことが原因かもしれません。



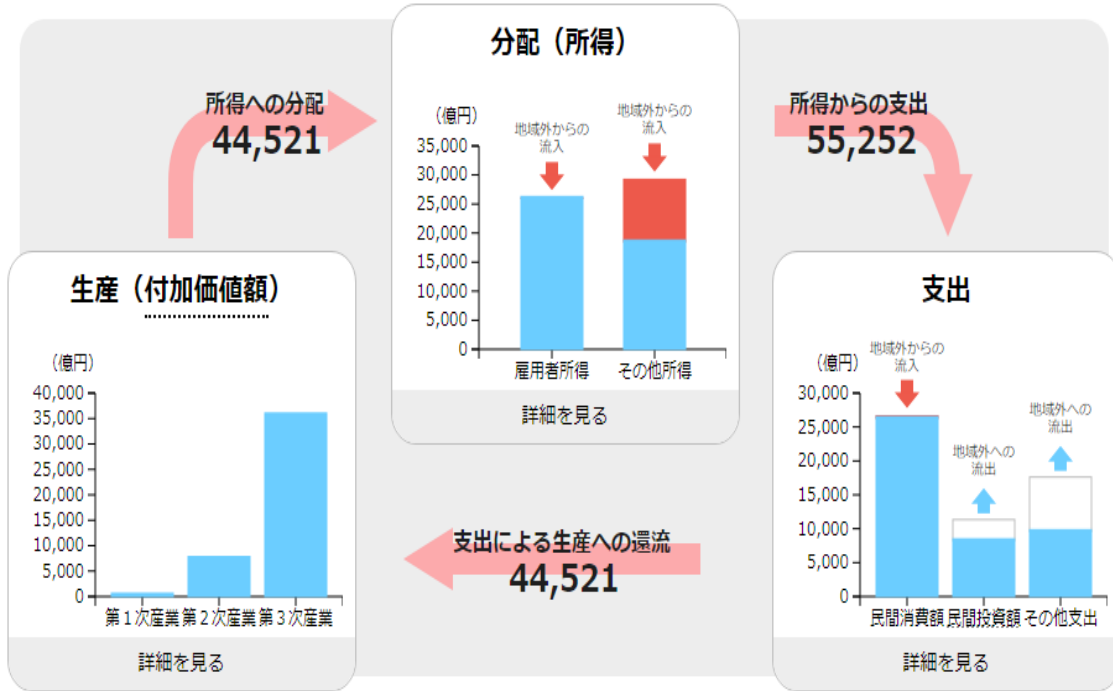
地域経済循環分析では、地域経済の長所と短所を分析し、地域のお金(所得)の流れを生産、分配、支出(消費、投資等)の三面から「見える化」、地域経済の全体像や、所得の流入(お金を稼ぐ力・流出額)、地域内の産業間取引(循環構造)を把握することができます。

参考資料：沖縄県

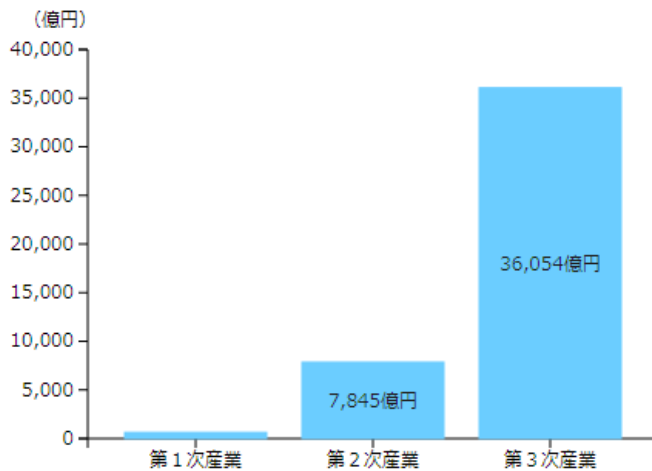
地域経済循環率
80.6%

地域経済循環図 2018年

指定地域：沖縄県



生産（付加価値額）

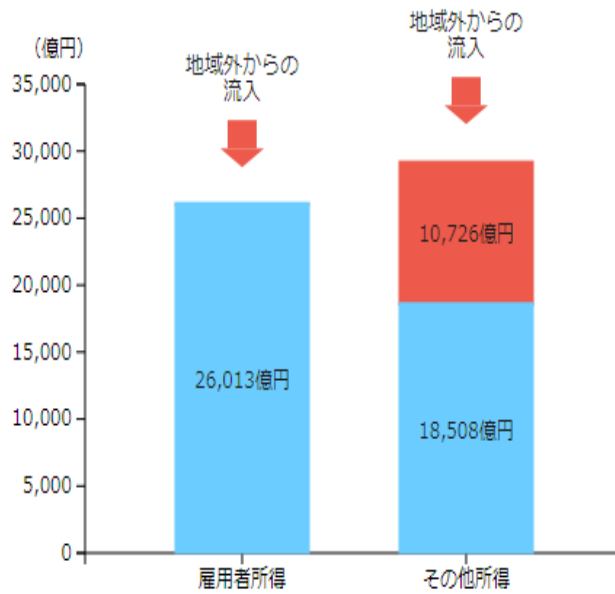


指定地域：沖縄県

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	245万円	875万円	750万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	30位	28位	45位

※順位は、47都道府県単位

分配（所得）

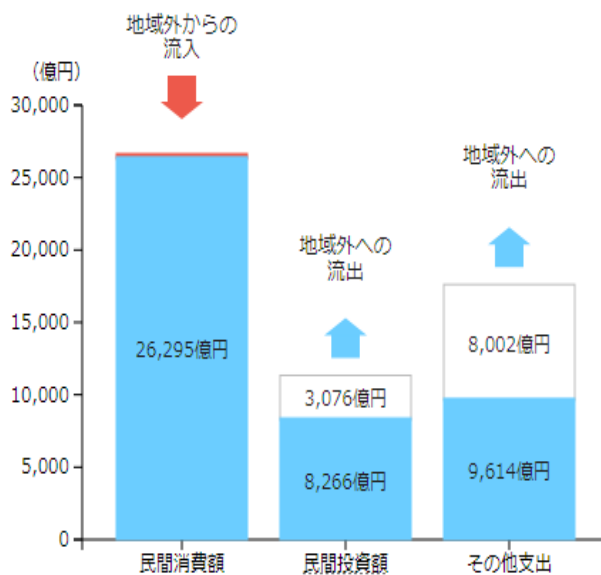


指定地域：沖縄県

	雇用者所得	その他所得
所得 (一人当たり)	180万円	202万円
所得 (一人当たり) 順位	47位	33位

※順位は、47都道府県単位

支出



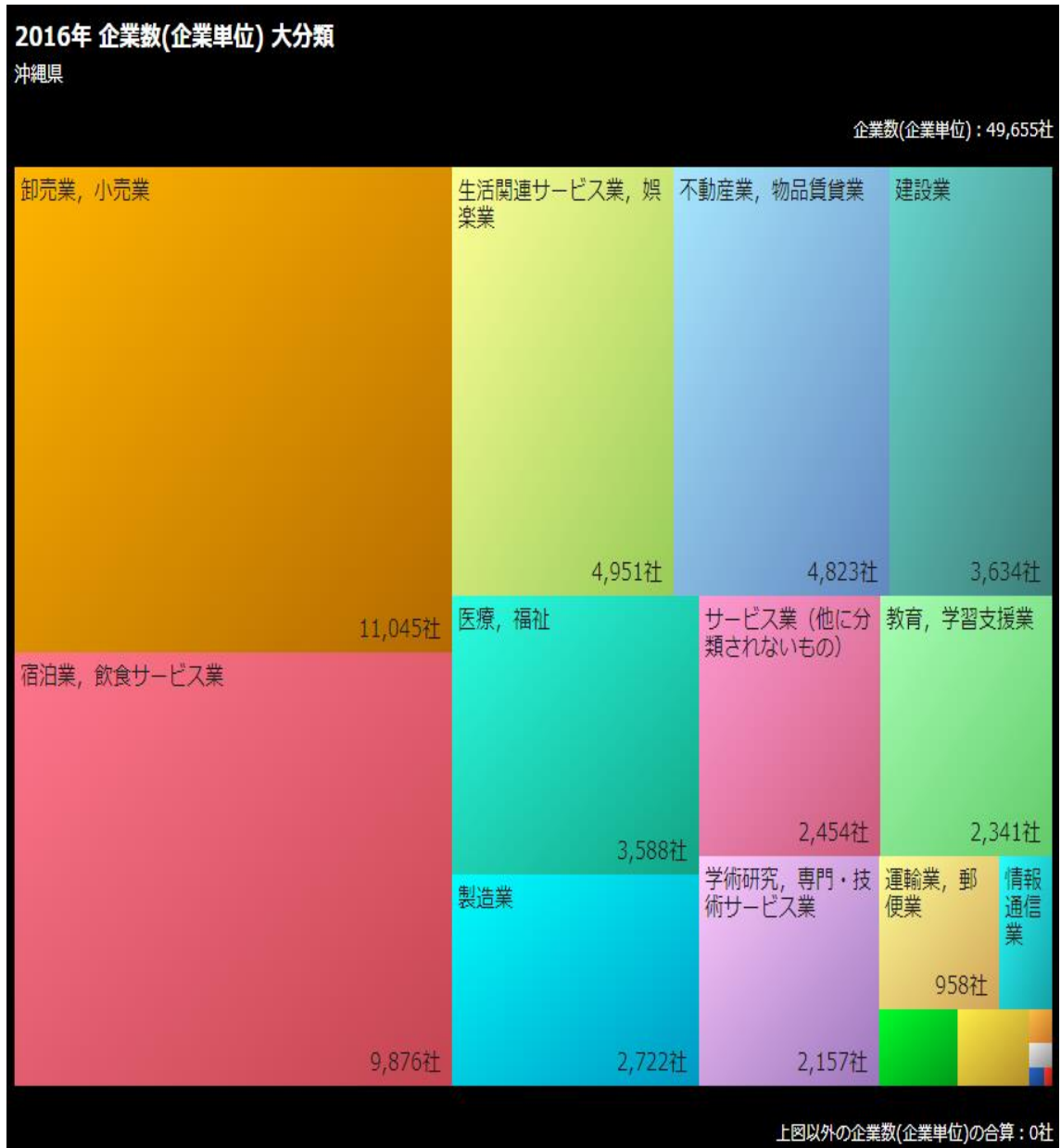
指定地域：沖縄県

	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出入率	1.3%	-27.1%	-45.4%
支出流出入率 順位	26位	39位	37位

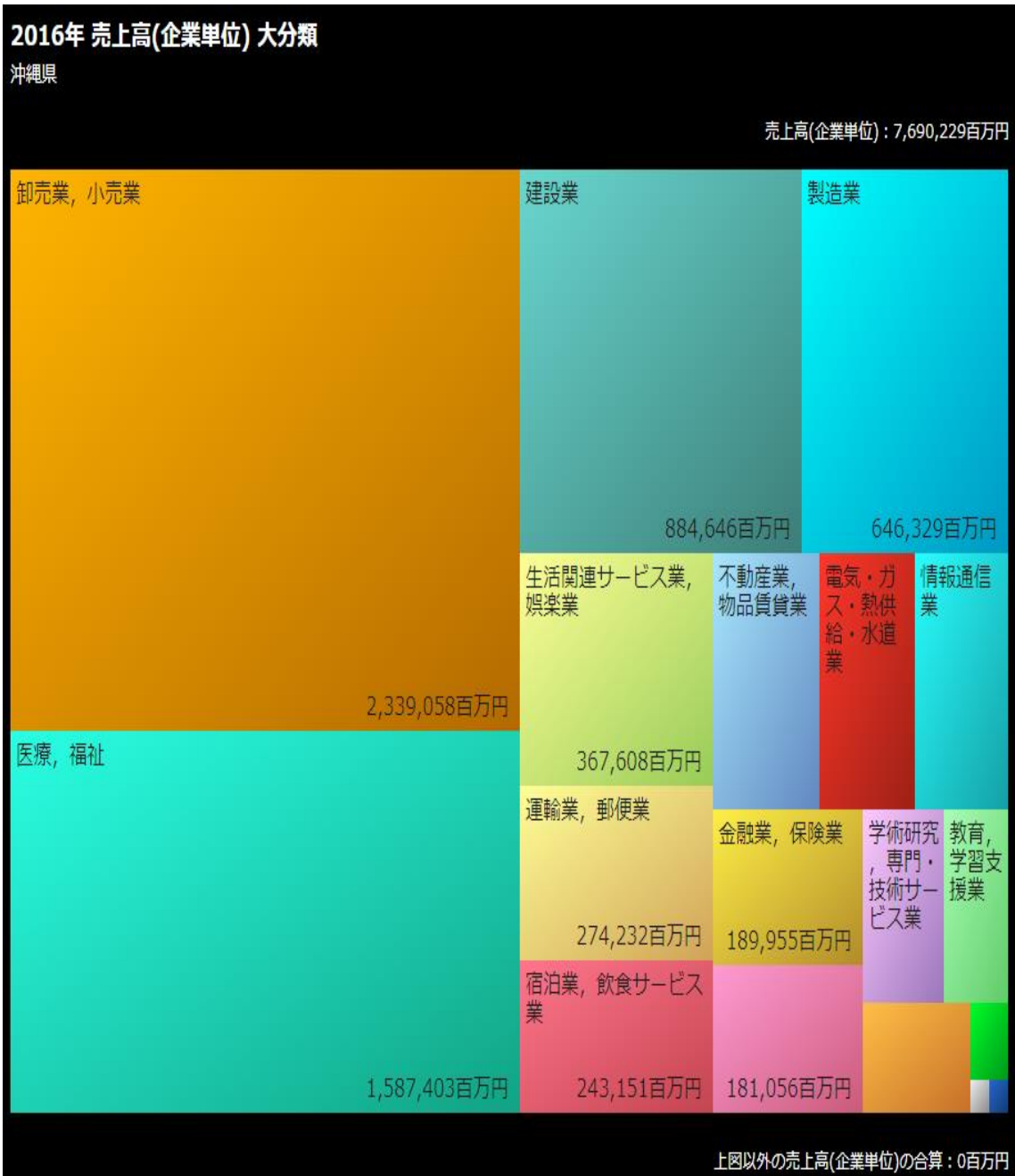
※順位は、47都道府県単位

産業構造の分析：沖縄県

沖縄県における企業数(企業単位)



沖縄県における売上高(企業単位)



沖縄県における付加価値額(企業単位)

